

## 建設産業政策会議の設置について

### 1. 趣旨

- 建設業については、これまで、人口減少・高齢化に伴う将来の担い手不足を見据えて、担い手の確保・育成に向けた処遇の改善や生産性の向上に取り組んできたところである。
- 特に最近では、社会保険の加入促進、建設キャリアアップシステムの構築、i-Construction の推進に加え、昨年秋の基礎ぐい工事の問題を受けた再発防止策の実施や構造的な課題への対応に取り組んでいる。
- 他方、近年、様々な分野でイノベーションが進む中、建設業においても、10年先を見越した場合、ICT等の技術の進展により施工のあり方そのものが大きく変化することが予想される。
- さらに、政府全体でも、生産性革命や働き方改革などの検討が進み始めているところである。
- これらの状況を踏まえ、劇的な進展を遂げるAI、IoTなどのイノベーション、確実に到来する労働力人口の減少といった事態を正面から受け止め、10年後においても建設産業が「生産性」を高めながら「現場力」を維持できるよう、法制度はじめ建設業関連制度の基本的な枠組みについて有識者による検討を行う「建設産業政策会議」を設置することとする。

### 2. 今後のスケジュール

10月11日 第1回会議

12月 第2回会議

※以降、1～2ヶ月に1回程度の頻度で開催

来年6月頃目途 とりまとめ